

事務事業評価シート

(H.30)No.	1269	(H.29)No.	1269
-----------	------	-----------	------

事務事業名	教育研究事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	教育センター	上谷 典秀	

会計区分	事業コード	469001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	教育研究事業	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	教育研究事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施 策	1	学校教育
重点プロジェクト	2.若者定住促進プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)		
様々な教育課題に迅速かつ適切に対応していくために、より質の高い教育を実践できる教職員の育成や学校・園、家庭をきめ細かく支援する等、教育力の向上を目指します。		
事業内容		
「子どもの育ち・学びへの支援」「教育に関する調査・研究」「教職員への支援」「学校と地域や家庭との連携への支援」「教育情報・資料の収集・提供」の5つの機能を提供します。		

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	・教育相談事業 ・教育講演会、研修講座、家庭教育講座等の実施 ・プロジェクト研究 ・児童生徒支援事業 ・適応指導教室の運営 ・週末教育事業 ・発達支援教室・学校支援ボランティア推進事業・教育センターアドバイザー事業等 旅費 50千円 需用費 1,077千円 委託料 80千円 使用料及び賃借料 488千円 報償費 3,650千円 負担金補助及び交付金 5千円	・教育相談事業 ・教育講演会、研修講座、家庭教育講座等の実施 ・プロジェクト研究 ・児童生徒支援事業 ・適応指導教室の運営 ・週末教育事業 ・発達支援教室・学校支援ボランティア推進事業・教育センターアドバイザー事業・なばり学ゲストティーチャー事業等 旅費 50千円 需用費 1,099千円 委託料 68千円 使用料及び賃借料 544千円 報償費 3,989千円 負担金補助及び交付金 5千円	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
			各事業を充実させ、さらに工夫を重ね、有効な教育的支援を行います。	各事業を充実させ、さらに工夫を重ね、有効な教育的支援を行います。	各事業を充実させ、さらに工夫を重ね、有効な教育的支援を行います。

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		5,335千円		5,755千円	5,755千円	5,755千円	5,755千円
内訳(千円)	国・県支出金		320	322			
	地方債						
	その他()		3,401				
	一般財源	0	1,614	0	5,433	5,755	5,755
人工数	職員		1.98人	1.98人	1.98人	1.98人	1.98人
	臨時職員等		4.62人	4.62人	4.62人	4.62人	4.62人
②概算人件費	0千円	22,968千円	0千円	22,968千円	22,968千円	22,968千円	22,968千円
①+②総事業費	0千円	28,303千円	0千円	28,723千円	28,723千円	28,723千円	28,723千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
研修・研究及び教育相談を実施することにより、子どもの豊かな学びを保障するとともに、学校教育・家庭教育を支援することができました。新学習指導要領を見据えた新しい教育への対応を含め、教職員への支援としての研修講座等を運営し、教職員の授業力を向上させることにより、学校の教育力を高め、学校教育に満足している市民の割合を高めます。市民にセンターの機能や事業の実施に係る情報を的確に提供し、学校と地域づくり組織との連携を側面からサポートします。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
第二次名張市子ども教育ビジョンに基づき、高度で広範な機能の充実や事業展開を進めます。講座実施後のアンケート等をもとに事業内容を見直し、サービスの向上に努めます。名張市の教育の今日的課題及び中長期的課題に即して、研修の内容や回数、方法等を検討、改善してセンター機能の充実を図ります。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
第二次名張市子ども教育ビジョン